

創 生

2007

～魂がふるえるとき時代は動く～



2008 年度
山口ブロック

会員大会

10月13日(土)
周東パストラルホール



本年度の山口ブロック協議会の会員大会は、岩国J Cの主観で周東町で行われました。萩のメンバーは片道約2時間半もかけて車で走り、ほぼ全員の顔が会場にありました。先輩方から受け継がれる伝統ですが事前の全登を当たり前とする杉山理事長、そして小橋副会長を輩出しているロムとして意識の高さを本当に誇らしく思いました。私は今年度、高山ブロック会長が1年を通して、今の時代に、JCマンとして社会に対して何をすべきか、ずっと問いかけてこられたと感じていたのですが、皆さんはどんな感想をお持ちですか？褒賞エントリーの事業もどれもすばらしい内容だと審査の際に思いましたが、結果として何を行ったかよりもどんな成果が直接社会や人に対してあったのかが青年会議所事業として優秀と評価されたように感じました。今現在社会は問題提議ではなくダイレクトな問題解決をJCマンに求めているのではないのかと思います。そして懇親会卒会式ですが、はじめに卒会者の一人として皆さんにお礼を申し上げます。当日は遠方にも拘わらず、最後までお付き合いくださってありがとうございました。笑い話ですが、私は事前に委員会メンバーの「何かがあってもいいようにしたいほうが・・・」の声に女性ですので、もし騎馬だったらハイヒールは危ない、スカートもだめだし、まして重たいし・・・なんて前日まで考えました。友人の女性会員は着物で来ていましたが、私は一番安全なストレッチ素材のパンツスーツに身を包んで参列しました。入場騎馬こそなくてほっとした矢先にステージ上からメンバーの頭上にフライング、悲鳴の間もなく人生40年で初めての胴上げをされました。抱えてくれた皆さん、落とさずにごんばってくれてありがとう！リバウンドしてごめんなさいね！杉山理事長はじめ、岩国へ参集した萩の同志は2次会以降も勢ぞろいで、私達は準備された企画にうるときたり、入会間もないメンバーが特に積極的に卒会者を敬ってくれたり、5名の誰もが魂が震える感動をいただきました。同じ思いがまた皆さんに巡りますように、感謝の心を込めてお礼申し上げます。

卒会者を代表して 総務情報委員会 宅野奈都子

第56回 全国会員大会 帯広大会

平成19年9月27日～30日 北海道帯広市愛国町

宇部29度。杉山理事長はじめ、山縣予定者、豊田専務、そして我々S42年組卒会予定者（宮沖・郷田・植野）の6名で空路、北海道へ。羽田で玉村君と合流。札幌のホテルでは岡田勝行君が既に到着。吉武君・烏田栄二君が滑り込み総勢10名のロムナイトは開幕しました。・・・楽しい一夜はあっという間に過ぎ、一同目をこすりながら、旅慣れされている杉山理事長の案内のもと、豊田専務・岡田君兩名に命を預け、覆面パトを尻目に雄大な大地をレンタカーで疾走。旭山のペンギン、富良野の夕日、トマムの朝霧、車中の宴会などたくさん名場面が玉村君のNIKONに刻まれていきました。帯広の前夜祭では郷ひろみをゲストに盛り上がり、式典ではご来賓として常陸宮ご夫妻・高橋北海道知事・鈴木宗男氏。歴代会頭の中には麻生太郎氏も参列されておりました。惜しむらくは、六千万円かかったと言われる一万人収容特設テント会場が広く、あまりの寒さに耐えられず飛行機の時間もあって已む無く途中退場となったこと、特に名物本家豚丼を食せなかった事が悔やまれます（サプライズは森山直太郎?）。帰りは羽田到着20分遅れというハプニングにも関わらず、豊田専務の大活躍によって無事戻ってこられたことは今でも一行の語り草です。

本行程を通して食の恵だけではなく、近県では得られない連帯感を味わうことができました。県外行事は尻込みしがちですが、今後現役の皆さんには京都会議など思い切ってご参加いただければと思います。友情と絆が深まること請け合いです。最後に、残念ながら郵政民営化等のため卒会予定者の小崎・宅野君は居残り組となりましたが、遠路にも関わらずご参加いただいたメンバーの皆様、また当日都合がつかずキャンセル料まで払われた皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

2007年度会務担当副理事長 植野暢之



2008年度 事業計画合同委員会 10月8日(火) 於 JOY201

次年度の委員会構成会議も終わり、各委員会のメンバーも確定して本格的に次年度各委員会の活動がスタートする中、本日は会場も通常使用する商工会議所ではなく、何か新たな気持ちを奮い起こすにはうってつけといった様相でした。

次年度の山縣理事長予定者が承認され、私は次年度、事務局長という大役を経験させていただけることとなりました。違った目線から今自分の在籍しているロムを見つめることができるのではないかと期待の気持ちでいっぱいです。

さっそく執行部の立ち上げ、各委員長、そして各委員会の構成、等々さっそく執行部の立ち上げ、各委員長、そして各委員会の構成、等々、単年度制という特徴を持つ青年会議所活動の源流から体験し始めたところではありますが、早くも先行き不安な面も感じる場面が多々あります、しかし、次年度、増山専務理事予定者の手助けを存分に頂きながら、且つ専務理事予定者の長い青年会議所活動の経験の中から、ひとつでも多くの事を学びたいと考えています。

話を合同委員会に戻しますが、年間を通じて各委員会が一堂に介しての委員会開催、そして次年度萩青年会議所のスタートでもある本日の合同委員会正直な所、欠席者が出るものだとは思いませんでした。山縣理事長の次年度萩青年会議所の起ち上がりに私の稚拙な出席確認、そして最終確認での不手際が招いた結果だと深く反省させられるところです。

2008年度(社)萩青年会議所は動き出しました。本年創立50周年を迎え、来年は新しい半世紀の歴史の1ページ目を飾る年となります。会員の減少する中、大変だということは容易に想像できますがそんな中でも、青年会議所として地域に何を与えられるのか、其の為に自分が何を成すべきか、念頭において来年一年活動して行きたいと感じました。

50周年実行委員会 委員 烏田栄二

9 月度例会「ディベート入門」 10月8日(火) 於 萩商工会議所 3F



9 月度例会のテーマは、会員指導力拡大委員会による「ディベート入門」でした。

これに先立ち、メンバーの皆様には 8 月に開催したオープン委員会に参加していただき、ディベートの進め方などを学んでいただきました。

当日は、「生まれ変わるなら男か女か」「子供の教育の責任は教師か家庭か」というテーマで、それぞれ 50 周年実行委員会 vs 総務情報委員会、社会開発委員会 vs 事業推進委員会の皆さんにディベートをしていただきました。

オープン委員会の後、皆さんにはテーマと発表者を事前に準備していただいたおかげもあって、それぞれにグラフ・統計資料などを活用した充実したディベートが展開されたと思います。このディベート入門が皆さんの事業活動に少しでもプラスになれば幸いです。

オープン委員会から出席していただいたメンバーの皆様には感謝いたします。ありがとうございました。

会員指導力拡大委員会 委員 大久保 浩元

山口ブロック長期ビジョンセミナー 10月6日(土) 於 山口市カリエンテ山口



10月6日(土)山口市カリエンテ山口に於いて、山口ブロック協議会 JC 長期ビジョン委員会による JC 長期ビジョン推進セミナー発言道場「文句のある奴はみんな来い」が開催されました。

内容は 8 月に行った山口県全ロム会員対象の JC メンバー現状アンケートの結果を元に会員の現状の問題、意識を分析しその問題を一つ一つ会場の参加者で考えるというものでした。問題定義としては JC メンバーとして誇れる事、恥じる事や家族、会社の JC 活動の理解度は? JC への負担、JC を辞めたくくなる時などがあり、会場のステージには山口ブロック協議会の橋本副会長がコーディネーターで各ロムの卒会生と新入会員をパネラーで登場し会場全体を巻き込んだ討論会になりました。参加者約 200 名で様々な意見がでて問題に結論はだまらなかったが、参加されたメンバーは自分自身と照らし合わせることができ今後の JC 活動の参考になったのではないかと思います。

最後に週末の忙しい中、参加された萩 JC のメンバーの皆様ご協力ありがとうございました。

監事 田村 昌彦

10 月度例会 マニフェスト型公開討論会セミナー 10月12日(金) 於 山口福祉文化大学

10月12日社会開発委員会による 10 月度例会がおこなわれました。山口ブロック協議会日本 JC 協働運動推進委員会をお迎えしてマニフェスト型公開討論会セミナーが山口福祉文化大学でおこなわれました。いつもとは違った雰囲気、まず現代の社会背景から始まり、萩の現状も解りやすく詳しく説明してもらい自分達が暮らしているこの萩がこんなにも暮らしにくくなっているとゆう現実を改めて実感させられました。そして、公開討論会の説明、意義、あり方など私達には無縁の話かと思われていましたが話しをきいているうちに少なからず関心をもてた様に思われます。2 次会の席でも「公開討論会やろーや!」なんて声も耳にしました。このセミナーを行って多くの方が我が町萩がこのままではと思った事でしょう。次の世代を担う我々の年代にとっては考えさせられるセミナーだったと思います。

社会開発委員会 委員 岡崎 考浩



OB と現役とのスポーツ交流会

10月25日(木)
ユーズボウル萩



10月25日(木)、ユーズボウル萩に於いてOBとの交流会が開催されました。

ボウリング大会では17名先輩が出席され11のレーンに分かれて優勝目指して皆さん白熱した投球を繰り広げられていました。ストライクが出るたびにいろんなところで歓声が沸きたいへん盛り上がりました。

優勝はOBの原田暢泰先輩でした。どうもおめでとうございます！懇親会はカラオケボックスで行われ、理事長の挨拶に始まり、OBも現役も入り混じっているいろんな話題が繰り広げられて楽しくとても有意義な時間となりました。

私は初の司会の役を仰せつかって緊張して詰まりながらの進行でしたが、当委員会の小崎委員長をはじめとする頼もしい仲間にも助けられながら無事に司会を勤め上げることが出来ました。OBの先輩方も盛り上げてくださってその場にいる全員が青年会議所の一員として誇りを持ち、一致団結した力強い仲間であるような感覚を味わえた一日でした。

会員指導力拡大委員会 岡田 泰

同好会報告

じゃがいも

第4回じゃがいも

平成19年10月7日(日)

ブルーラインカントリー倶楽部

優勝	小林 正治
準優勝	新見 和広先輩
3位	嶋村 理郎先輩
ニアピン	豊田 善隆
	嶋村 理郎先輩
	横山 賢治先輩
ドラコン	増山 真悟
	豊田 善隆

第5回じゃがいも

平成19年11月4日(日)

萩・石見カントリー倶楽部

優勝	宅野奈都子
2位	村川あかね
3位	小橋 正伸
4位	佐伯 政樹先輩
5位	杉山 芳文

ブロック研究会

第4回ブロック研究会

平成19年11月2日(金)

トマト村麻雀ルーム

優勝	山縣賢一郎
準優勝	大谷 幹二
3位	大玉 功先輩
大波賞	佐伯 政樹先輩
ハイスコア賞	
	大玉 功先輩

編集後記

いよいよ本年度最終のJCニュースとなりました。JCニュースは一年間の集大成であり将来のメンバーにつながる大事な資料の一つである大切さを実感致しました。

最後に一年間JCニュースの依頼に対し、快く引き受けていただき本当にありがとうございました。